

# 尼崎の未来に向けたまちづくりについて

## ～立花地区にお住まいのみなさまと～



令和6年8月5日、尼崎市のまちづくりについて、参加者のみなさまに説明をし、また参加者のみなさまからは、インクルーシブ教育、学校給食や女性センターに関することなど様々な意見をいただきました。

### インクルーシブ教育 の柔軟な運用

#### 【参加者からのご意見①】

- 障害のある子どもとない子どもがともに学校生活を過ごせるような枠組みが大切。軽度の障害であれば、通常学級でともに学習できるような運用があればいいなあ...

#### 【現在の対応などについて】

- 障害のある子どもとない子どもがお互いを理解・尊重しながら、可能な限り共に学ぶことを目指しています。その際、一人ひとりが学習内容を理解し、活動に参加している実感と達成感を持ち、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身につけることを大切にしています。
- 児童生徒の自立と社会参加を見据え、その時点の教育的ニーズに的確に答える指導ができるよう、多様な学びの場を整え、本人・学校・保護者とも相談しつつ、柔軟な対応を図っています。

### 栄養価の高い学校 給食の提供を

#### 【参加者からのご意見②】

- 給食の食材については栄養価の高い食材を取り入れ、また健康のためにも有機野菜や有機米を食材に取り入れて欲しい。

#### 【現在の対応などについて】

- 成長期にある子どもたちの健康を支えるため、栄養バランスのとれた安全安心な給食を提供しています。

#### 【これからの対応について】

- 有機食材は生産量が少なく、限られた給食費の範囲内で必要量を確保することが難しいといった課題はありますが、食育推進など教育的効果も期待できることから活用に向けて検討していきます。



## 女性センター トレピエについて

### 【参加者からのご意見③】

- 女性センタートレピエの再配置に向けては、利用者の意見にも耳を傾けた上で進めていって欲しい。

### 【現在の対応などについて】

- 女性センタートレピエの建替えを含む一連の取組については、広く市民や利用者の皆さんと意見交換を行うとともに関係団体にもヒアリングを行うなど、多様な意見を伺いながら進めていきます。
- 女性センター機能を備えた新たな施設整備の具体化にあたっては、法規制やいただいた多様な意見を十分に踏まえ、新たな施設が効果的にその役割を果たしていけるように取り組んでいきます。



### 【参加者からのご意見④】

- 女性センタートレピエでは、相談業務も指定管理者が行っている。相談に来る市民は虐待やDVといった深刻な悩みを抱える方もいることを考えると、相談業務は直営とし、福祉部門と連携を図るなど、必要な支援につなげることが望ましい。

### 【現在の対応などについて】

- 女性センタートレピエにはご意見のとおり、複合的な悩みを抱える方が相談に来られるケースもあります。そうした方に少しでも寄り添い、抱える悩みを軽減・解消に向かうよう、指定管理者と市はしっかりと連携を図り、必要な支援へとつなげています。



## 認知症高齢者等の 社会参加の充実

### 【参加者からのご意見⑤】

- デイサービスを利用する認知症高齢者等の社会参加活動の選択肢は様々なものがあり、また本人たちの希望も多様である。そうした高齢者が生きがいを持って過ごせるよう通所介護施設における多様な活動を許可してもらいたい。



### 【現在の対応などについて】

- 通所介護施設における活動については、事業所内でサービスを提供することが原則となっていますが、一定の条件を満たす場合には、地域行事への参加など、屋外でのサービス提供が可能であり事業者からサービスの提供状況をお聞きする中で判断しているところです。

### 【これからの対応について】

- 認知症の方々が主体的に社会参加できる仕組み・メニューの充実・多様化はとても重要な視点であると認識しています。
- 認知症高齢者の多様な活動の実現にあたっては担い手の確保や、社会的理解を得ていくことの取組が不可欠であり、これら取組と合わせて、今後、前向きにその可能性について検討していきます。



(※) 参加者のみなさまのご意見や取組中(または取組予定)の事業等は、代表して一部のみを掲載しています。この他にいただいたご意見等は、尼崎市公式ホームページに掲載の車座集会の対話録をご覧ください。